

生涯学習係

「地域と学校が連携協力した教育活動」(学校支援センター)の充実を図りましょう

～社会教育主事の学校訪問から～

「先生!!」と、畑でコンニャク玉の収穫の手を休めて、見回りに来た先生に手を振る生徒たち。11月の肌寒い時期に、腰まで冷たい水につかりながら、大きな鱒を一匹一匹大事そうに捕まえ、体重ごとに別の池へと運んでいる生徒たち。酒造工場では、瓶詰めされた製品にゴミなどの不純物が入っていないか目を皿のようにこらして、次から次へと流れてくる製品をじっと見つめる生徒たち。目的意識をしっかりとった真剣な生徒たちの目がとても印象的でした。

これは、川場中学校のチャレンジウィーク(職場体験学習)を見学させていただいた時の一コマです。地域の教育資源を活かすとともに、地域と学校が手を取り合っって子どもたちをはぐくんでいる様子が伝わってきました。



【県水産試験場(川場魚センター)で職場体験する生徒】

他の学校においても、学校行事で子どもたちが老人会の方々と触れ合いながら学級花壇づくりを行ったり、家庭科の調理実習でボランティアの方々が一人一人の子どもたちに包丁の使い方を指導したりするなど、地域の方々の力を教育活動に活かす場面を数多く参観させていただきました。

各学校におきましては、地域と学校が連携協力した教育活動の在り方を、以下のポイントをもとにもう一度確認し、学校支援センターのさらなる充実を図りましょう。

【充実のためのポイント】

- 管理職のリーダーシップのもと組織的な取組ができるように体制を整えていますか
 - ・全職員による学校支援センター組織の共通理解
 - ・学社連携担当の役割の明確化
 - ・コーディネーターの育成 等
- 「活動のねらい」を地域の方へわかりやすく伝えていますか
 - ・事前打合せや連絡調整会議、情報交換等における「活動のねらい」の共有化と役割の明確化 等
- 活動の様子や成果を地域へ伝えていますか
 - ・活動発表会の工夫
 - ・学校、学年だよりの地域への回覧
 - ・学校Webページの活用 等
- 成果と課題を次年度に役立てていますか
 - ・学校支援ボランティアの活動計画等の見直し、改善 等